

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議
					子育て支援班 子どもセンター 健康推進班 総合窓口班 教育振興課

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 打合せ 協 議	文書番号	上富子育 第1526号
		決裁期日	令和4年3月9日
名 称	令和3年度 第2回子ども・子育て会議		
日 時	令和4年3月7日(月) 14:30~16:15		
場 所	保健福祉総合センター 2階研修室		
出席者	子ども・子育て会議委員13名(別紙名簿参照) 役場 町長、事務局 4名、説明員 1名 計20名		
内 容	<p>1 町長挨拶</p> <p>年が明けて、オミクロン株による感染拡大により町内の各認定こども園には大変ご苦勞をおかけした。関係者の皆様のご尽力により、当町について感染者はゼロではないが、落ち着きを取り戻している状況である。</p> <p>会議の中でもご説明申し上げるが、皆様の熱いご要望と私の公約の1つでもある「中学生までの医療費の無償化」を議会に上程させていただいた。議会の議決はこれからだが、4月から無償化を実現できる見通しが立ったので、皆様にお礼とご報告申し上げます。</p> <p>最後に、皆様の任期が満了ということで、この間、町の子育て施策に対してご理解とご協力いただいたことに対し、感謝申し上げます。</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>遠隔での会議がほとんどになってしまい、今回こうして皆様とお顔合わせで会議ができることをとても嬉しく思う。</p> <p>札幌ではオミクロン株へ移行が進み、大学職員、教員本人たちは大丈夫なのだが、お子さんのいらっしゃる方々の感染について日々メールで情報が流れてきており、医療についてもひっ迫している状況である。早く感染状況が落ち着いてくれることを願うばかりである。</p> <p>本日は、令和3年度最後の会議となる。今年度の事業実施状況等について事務局からの報告をお聞きしながら、皆様と活発に意見交換をしていきたいと思うので、よろしく願いしたい。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 令和3年度地域子育て支援事業の実施状況について</p> <p>資料1に基づき、事務局から説明。</p>		

質疑応答

委員 病児保育事業と病児・病後児以外の緊急サポート事業の今年度の状況について、どのようなケースでどのような対応だったのか教えていただきたい。

こどもサポートふらの 病児保育事業に関しては、風邪症状があるとかという時に対応させていただいている。目標値 40 人に対して、実績が 4 人であるのは、コロナの感染により、お子さんが発熱した時に保護者も仕事をお休みして看護したケースが多かったためである。ただし、受け入れに関しては、必ず病院の診察が終わってからという形でお預かりさせていただいた。

それ以外の緊急サポート事業ということで、48 時間以内に依頼をいただいたものを対応させていただいている。こちらは保護者の体調不良というところでの利用が多かった。また、保護者の仕事の関係で、お子さんの夕方の習い事で送迎ができないというケースも多い。

委員 内容については理解した。

今、危惧しているのは、コロナが流行っている中で、1 人で子どもを育てている家庭の保護者が感染した際に、子どもをどうするか。近くに協力いただける家族等がいる方は問題ないかと思うが、遠方からの転勤等で転入してきた方が少なからずいらっしゃるのも事実で、そういったケースに町はどう対応してるのか確認させていただきたい。

事務局 コロナ禍において、1 人親のご家庭で保護者が感染された場合の預かりについては、まず感染されると富良野保健所が感染者に対して状況の確認とかそういう対応になるんですけども、全てのケースではないが、同じ家庭で感染者が出た場合、同居家族も一緒に待機するよう保健所から指示されたということも聞いている。ただ、小さなお子さんがいらっしゃる家庭だと、親子で離れることが難しいため、一緒に宿泊施設で隔離、あるいは病院へ入院するというケースもあると聞いている。預かり先は課題で、同居家族は濃厚接触者になるという形が多いため、町で委託している短期支援事業についても委託先での受け入れが難しい状況であるので、現状保健所の指示に従って行動していただいているところである。

小さなお子さんが感染等された際に、認定こども園が特に相談窓口になられたのではないかと思う。行政側としては、まずこの新型コロナも感染者について町が情報を持つことが中々難しく、様々な

内 容

内 容

状況の中で、町としても町長とご相談させていただき、まず家庭内において療養できる方に対しての支援ということで、2月21日より、北海道から陽性になられた家庭へ物資が届く制度があるということだが、陽性者がたくさんいると、物資が届くのに3日以上、時には5日以上かかるという情報入手したので、町はその日のうちに、まず救援物資を届けようということで2月27日から物資の支援を開始した。すでに昨日現在で7世帯の方に、9個の救援物資をサポートさせていただいた。あくまでもお電話でご本人が町に対して「どここの誰で何世帯いるのか」というのを教えていただいて物資支援をご希望されると、赤ちゃんのオムツやミルク、大人の方であれば、レトルト食品やトイレットペーパー等の日用品も含めて、1人あたり約4,000円から4,500円を目安として、皆様の生活の中で一番必要とするものを確認した上で、サポートさせていただいた。職員が玄関先にお届けすると、後に「大変助かった」とお電話いただいた。そのようなサポートがあることで、自分たちも人の目を気にしないで、療養ができるということでの言葉をいただいているので、そのようなたちが在宅で療養できる環境を整えることが大事だということで町は進めている。ただ、長期的に宿泊、入院しなければいけないとなった場合は、保健所の方からそのような事例はまだ聞いてはいないが、家族で療養するような形になるのではないかとこの情報は得ている。入れておりますので、個別の条件について情報共有するものがあれば、ぜひ町としても検討すべき課題だと認識している。

委員

一番危惧してるのは、1人親の保護者が感染して、子どもが濃厚接触者ではあるが、子どもは感染してない状況の時である。親は症状が進めば、入院等を保健所からすすめられるのが基本かと思う。無症状であれば良いが、入院する時に感染した保護者が未感染の子どもを連れて入院するよう保健所が言うかということ、そうはなりづらいのではないかと思う。そういうケースにおいて、子どもをどうするかというのが、親としては一番心配で、そこに対して助けてくれる人がいれば良いが、いなかった時にどこへSOSを出したら良いのか。SOSの発信先がきちんと周知されていることが良いというのが願いである。

事務局

1人親でも2人親でも家庭内で陽性になった方と陽性にならなかった家族という世帯は、数限りなく想定できる。そのような場合、SOSを出せる発信場所は、保健所がまず窓口になり、どのような対応をすべきか指導していると聞いているので、その次にその家族が希望して、町の行政に対してもそういう相談をして良いかどうかというところが課題であると町も受けとめている。そのような形で子どもの預け先に限らず、様々な相談が出てくると考えられるので、引き続き、保健所と連携して対応策については検討すべき課題だと認識していく。

内 容

委員 先ほど物資の支援については、保健所に連絡すればご案内してもらえる状態にあるということか。

事務局 上富良野町、中富良野町、南富良野町で、富良野保健所と連携しているが、富良野保健所が対象者へ説明する際に、各自治体が作成したチラシを使用している。自宅療養者になった際には、生活物資の支援を希望するかないか、希望する方については必ず個人の情報を町に自らお伝えしていただきたい。個人情報を言いたくないなと思い、自分たちで友人等に宅配をお願いされる方もいらっしゃるが、人には頼みづらいのでここは町にお願いをしたいという方に対しての申込を町では受けている。世帯によってはお子さんの年齢によって必要な物資が異なるので、それについては臨機応変に対応している。

委員 コロナになって保健所とやり取りする中で、「上富良野町の方ですね」となった場合、「このようなサービスがありますよ」と黙ってても届いてきて、「かみんへ電話してください」というところまで自動でサービスが受けられる状況であるということか。

事務局 その通り。

委員 支援物資にかかる費用は自己負担があるか。

事務局 支援物資については3日分の食料及び日用品ということで、1人当たり約4,000から4,500円の費用については、町の税金で対応しているため、自己負担はない。

委員 時間外保育事業と乳幼児全戸訪問事業、地域子育て支援拠点事業は、昨年度よりも人数が減っているが、これについての原因がコロナによるものなのか、子どもの数が減っているからなのか、その辺りを教えていただきたい。

事務局 時間外保育事業については、ひとり親世帯やフルタイム共働きの世帯が主に利用されているかと思う。コロナによる自粛も少し影響はしているかと思われるが、利用されている世帯もお子さんの卒園や入園等で入れ替わるので、そういったことも1つ要因となっている。

乳幼児全戸訪問事業については、お子さんがお生まれになったご家庭全てに訪問しているので、出生数が直接影響している。

地域子育て支援拠点事業については、コロナの影響で事業の参加を控えていらっしゃるご家庭もあるが、小さいお子さんの就園率が増加していることも大きな減少理由である。

(2) 上富良野町子ども・子育て支援事業計画第2期について

①事業計画の一部改正(追加)案について

資料2に基づき、事務局より説明。

委員から意見等なし。事業計画の一部改正について承認された。

②子どもの医療費無償化について

資料3に基づき、説明員より説明。

質疑応答

委員 受給者証は3月中に送付されるということだが、現在受給されている方の受給者証については、まず7月末期限の受給者証をいただき、その後8月以降分ということによろしいか。

説明員 その通り。

委員 5歳の子どもがおり、農業を営んでいるが、数年前に所得が多くなったことで医療費を3割負担したことがあった。改正後、所得が多い方は3割負担ということが一切記載されていないが、こちらはどのように変わるのか教えていただきたい。

説明員 今回の改正で、所得に関係なく中学生までは全額医療費を助成させていただくことになる。

委員 小、中学生については、日本スポーツ振興センターで5,000円以上だと医療費が支給されるシステムを持っている。市町村で医療費を全額助成にしたケースだと、町が負担分より振興センター負担分を優先した方が、税の支出が少なくなるので、日本スポーツ振興センターに対して還付手続きをしてもらうよう町が依頼するケースが多い。当町もおそらくそのような制度をとっているかと思うが、振興センターへ申請する手続きは学校を通して、保護者から領収書等の証明書をいただき、センターへ送るようなシステムなので、保護者の中には手続きが面倒であるとか、町が無料だからと考える方が一定数いらっしゃるケースが出てくるかと思われる。それを未然に防ぐ意味でも、受給者証を送付する際に小、中学生については、このような手続きで還付を進めることになるというルールと啓蒙を、ぜひ町としても取り組んでいただきたいと思う。学校も周知はするが、町としても周知をお願いしたい。

内 容

説明員 町の方としてもそのような制度を活用して、医療費助成を拡充したいと考えているので、周知をしていくよう進めたい。

(3) 保健福祉課からの情報提供について

①ア 小児の新型コロナワクチン接種について

資料4に基づき、事務局より説明。

質疑応答

委員 子どもへのワクチン接種について、薬量が大人より少なくなるかと思うが、これについて何かに記載があったり、周知されるのか確認したい。

事務局 個別案内に同封させていただいている厚生労働省のリーフレットの中に記載があるので、こちらで周知をさせていただく。

イ 子宮頸がんワクチン及び3歳児健診における屈折検査について

当日配布資料に基づき、事務局より説明。

委員から意見等なし。

②ア 子どもセンターからのお知らせ

資料5に基づき、事務局より説明。

委員からの意見等なし。

イ 新子どもセンター基本設計概要版について

資料6に基づき、事務局より説明。

委員からの意見等なし。

③令和4年度子ども・子育て会議委員の委嘱について

④次回会議の開催について

事務局より説明。

委員から意見等なし。

内 容

(4) 各委員からのご意見等

委員 2年間務めてきた。どれだけ役に立ったか不安だが、皆様に感謝したい。

子ども・子育て支援事業計画第2期の一部改正が本日提案されたが、コロナ禍になってから2年経っている。コロナによって子育て中の困っている方々は、どのような事業を行ってほしいか、どのような支援をしてほしいか、そういったことをこの支援事業計画に載せなくて良いのか。当初は載せなくても良いと思っていたが、今回子どもセンターの整備については加えることになったので、都合の良いことだけ加えるのは少しいかがなものかなという思いもあり、コロナ禍はまだ続きそうなので、それに携わる事業があるなら、追加すべき事柄ではないかと感じている。ぜひご検討いただければと思う。

医療費無償化に伴って、先ほどスポーツ振興センターのお話しをしたが、任意で保護者が掛け金を支払っている。今後、町が医療費を全額助成してくれると、掛け金を払わなくて良いので保護者は楽である。そういう選択肢ももちろんあるとは思う。ただ、トータルとして町の医療費を少しでも抑制するなら、ぜひスポーツ振興センターの方にかけてくださいという話になる。そうすると無料にならない。何を言いたいかというと、全額町が掛け金を負担していただくと良いなと思っている。上川管内でいうとスポーツ振興センターの掛け金に係るところは教育委員会の管轄である。上川管内で全額負担してくれてる市町村というのは、ごくわずかである。半額程度を負担してる市町村は多い。うちはそれ以下の町の補助であり、補助率は上川管内で下から数えてすぐである。4年度は無理かと思うが、5年度に振興センター掛け金の町の補助額を上げるように調整を前向きにご検討をお願いしたい。

委員 いち保護者として参加させていただき感謝する。とても良い経験になった。子どもの医療費無償化について、子どもに持病があり、これからお金がかかっていくのでどうしようと思っていたところだったので、無償化になって良かったという反面、委員のスポーツ振興センターの話をお聞して考えさせらる部分もあった。

自宅療養者への物資の支援についても、知り合いが別の町で子ども食堂をやって個人的に支援をしているので、町でそのような事業を行っているのはとても手厚いなと思った。これからもこの町で子どもたちと安心して過ごさせていければ良いなと思う。

委員 2年間勤めさせていただき、最初の会議でまだお腹にいた子も1歳何か月になり、走り回って時に反抗もしてくるようになった。この会議を通して、これだけ子どもやお母さんのことを考えてくれる人がいるんだというのが知れて良かったと思う。私もこれからず

内 容

っと上富良野町で子育てしていくと思うので、この先、生まれた赤ちゃんやお母さんをサポートできる側になっていきたいと思った。

委員 2年間勤めさせていただき感謝する。子ども産んでいないと分からないこともたくさんあるのだなというのを改めて実感させていただいた。まだまだ子どもも小さいので、これからも様々な支援をしていただくこともあるかと思う。これからもよろしくお願ひしたい。

委員 2年間この会議に参加させていただいているが、コロナ禍で当初計画された事業計画の事業量も大幅に数字的にも変わってきているので、令和6年度以降の計画については、大幅に見直しをしないといけないのではないかと感じている。上富良野町においても出生数が非常に落ち込んでいるので、町としても長期に渡っての計画の中で、少しでも子育て世代、人口も含めて、何か魅力あるまち作りをしていくことが大切であり、この子育て支援事業計画はもとより町の総合計画を大きく見直しをしていかななくてはならないところ立っているのではないかと、これを通して大きな問題に繋がっていると実感した。

さらにコロナ禍で、先ほど物資支援のお話もあったが、うちの園でもご家庭において陽性者が出た中で、保護者に情報を提供する段階でその保護者の確認を取って、全家庭に周知をした。その中で様々な個人情報も絡んでくるので、非常にデリケートな問題であるが、それと同時にある大きな職場ではLINEを通して一斉に共通理解なされ、「どこの園のどこのクラス」というところまで発信がなされている実態もある。その辺りは、我々事業所としては止めることはできなかったが、保健所の物資支援が21日から始まったということだったが、うちの感染はその以前だったので、私もそのご家庭の保護者に何か困ってることないのか、何か足りないことはないのか、気にして毎日確認し、健康観察をしながら、保護者とお話をしていたところ、「友人や知人から多くのサポートをいただいているので、一切心配がない。本当にありがたい」という言葉をお聞きしたので安心した。先ほどのお話で保健所からは、紙が来て、自分からかみんへ連絡をして、それもあるかもしれないが、やはり自分から中々言い出せない方がいらっしやると思う。最初のアクションを起こすのが保健所なのかは分からないが、「どうですか。かみんに電話しませんか」、「かみんから電話をしてもらうようにしますか」ということを、そこまで温かくするのが一番の支援ではないかと思う。物資の支援で、その一番の切り口を大切にいただいただけると、「なんてこの町はありがたいのだろう」というようになると思うので、その辺りを内部で検討していただけると良いなと感じた。

委員 2年間勤めさせていただき感謝したい。こども園が休園となり、保護者や町民、学校、行政にご迷惑おかけし申し訳なかったが、多くのご協力をいただき助かった。物資支援のお話もお聞きして、園と

内 容

内 容

しても保護者の方にお伝えしていきたい。

委員 2年間勤めさせていただき感謝する。町の新しい事業も含めて情報提供いただいているが、同じケースで管内、道内ではこうしている等と比較してみると案外うちの町は普通ということもあるので、資料等でそのような状況についても入れていただくと良いと感じた。

委員 1年間ではあったが勤めさせていただき感謝する。保育園でお仕事している中で、少しずつ上富良野が変わっていったりと実感している。わが子でメガネを使用している子がおり、この3歳児検診で新しい検査環境ができることについて、小さな子がメガネをかけるということは親も苦しいし、本人も苦しいので、今後子どもたちの視力回復に良い影響を与える。また、医療費の全額助成というのは、とても保護者にとって嬉しい。1つずつ上富良野が変わっていく、良い方向に進んでいくということを今後も期待したいと思う。

委員 2年間勤めさせていただき感謝する。コロナで始まった2年だったと思ってるんですけど、コロナによって不安を抱えたということや、それが今後の事業にどのように反映していけるのかということろについて検討していく必要があるのではないかと思った。この1年で居場所がなくなった方に個別で対応した事業があったが、それが必要なものなんだと感じているので、そういったことも私達の方から声を届けさせていただき、必要なものがどんなものかということを考えていければと思う。

委員 会議に参加させていただき感謝する。コロナ禍で毎日のように防災無線で「どどこで感染者が出ました」というのを聞いて、聞いている私ですら苦しいのに、担当の方たちは本当にどれだけ苦しいだろうと思っていた。これ以上、感染拡大しないことを願うばかりである。小さなお子さんのいる保護者は何も経験がない中で、もう何をどう聞いていいかも分からない状態の中で子育てをしていると思う。町には健康診断等でお世話になる保健師がいるので、困っている保護者へどんな小さなことでも良いので、「これはどうなんですか」という声を上げて、聞いてみて欲しい。お母さんたちはそれで様々なことを早く発見できるかもしれないし、何か違うところにつないでくれる可能性もあるので、ぜひお願いしたいと思う。

委員 仕事の都合で今日初めての出席ということで、お役に立てなかったかなと思っている。私も子ども3人おり、医療費の無償化については大変ありがたいと思っている。比較で言うと隣町では高校生までということもあるが、検診項目等で予防に力を入れているということを知っているので、そういったところも情報提供いただければ、比較してうちの町も頑張っているというのが分かるかと思う。

委員 本当に子ども・子育て会議の委員をさせていただき感謝する。私自身もコロナ禍で情報がないうちで、こうした会議に参加させていただき、皆様のご意見を聞きとても勉強になった。引き続きよろしくお願ひしたい。

委員 委員を務めさせていただき感謝する。私もちょっと個人的な関心なのだが、人口について 20 代の前半の男性と女性の数を比較すると男性が倍ぐらひ多いのが目立っている、なぜなのかと思っていた。

事務局 職業は調べてはないうが、ご存知通り当町は駐屯地の中に管内舎があるということで、若い隊員は、管内にお住みでお仕事なさっている方が多くいらっしやると聞いている。そのような町の地域性だどご理解いただければと思う。

委員 聞いた話だが、中富良野町で感染した方の話をお聞きしたらもう治った頃に物資のダンボールが届いたという話も聞いたので、即日ではないが、すぐに対応するという先ほどのお話は大変ありがたいと思った。コロナに感染してごめんなさいという町じゃなくて、コロナの時は助けてくれてありがとうという雰囲気の街になったら良いと思う。

内 容

(5) その他

保健福祉課長 3月31日をもって定年退職となることから、委員皆様に一言お礼を申し上げたい。

保健福祉課長として、平成30年度から4年間勤務させていただいた。振り返ってみると、多くの事案が思い出され、この部署を担当させていただいたことを誇りに感じている。

子ども・子育て会議の委員の皆様は、関係機関の地域の代表者であり、子どもや子育て世代の皆様が、上富良野町において、安心安全な環境のもと、暮らしていただくための子ども・子育て支援事業計画の策定や進捗状況等についても検証していただくことで役割を担っていただけており、皆様からの貴重なご意見につきまして、私自身に大変重要だと痛感している。本日の会議においても、今皆様からいただいたご意見は事務局が記録しているので、今後の事務に反映させていただきたい。

今、子育て環境は情報化時代であるのに、なぜか子育ての養育者の方は孤立を感じていたり、同居しているのに家族関係が少し希薄化している等、時代の移り変わりにおいて、何か大きな変化を、私自身は感じている。子育て世代だけではなく、親世代やその他世代も含め、様々な視点で家族を捉えていることについて、私自身も90代の義父母と一緒に見てい

内 容	<p>るので、私の子どもたちとも孫ともこれからの家族のあり方について思いを共有していかなければならないと思っています。</p> <p>また、今回の新こどもセンター建設についても、実施設計や建設工事がまだ2年間を要することから、今後住民の皆様にとって、愛され、利用されていただける施設になるよう、個人的には一番で願っているところである。</p> <p>結びに、上富良野町の子どもたちが、今後も健やかにのびのびと成長していただきますよう、今後とも委員皆様のご活躍をご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。</p>
-----	--

上富良野町